

**決算説明会 質疑応答**  
**（2025 年 12 月期 第 3 四半期）**

[登壇者]

取締役 専務執行役員 CFO

渡部 敏朗（以下、渡部）

質問者① [Q]：2 点あります。1 点目がこの第 3 クォーターの進捗の振り返りをいただきたいんですけども、メカトロニクス事業なんかは営業利益率が上がってたり、一方でインダストリアルマシナリーはちょっとまだ利益額が数億円だったり凸凹していますので、第 3 クォーターの営業利益がどこが良くて、思ったよりも悪くてというのと、第 4 クォーターのご計画に向けて進捗というか、確からしさを改めて伺ってよろしいでしょうか。

渡部 [A]：そうですね、この 3 クォーターまでの実績状況を見ますと、少しセグメントごとに社内計画の進捗を申し上げますと、メカトロニクスセグメントについては受注、売上高はほぼ計画通り、100%に近い形でして、一方で営業利益は改善をしてる状況にあります。

インダストリアルマシナリーのセグメントですが、こちらがやや社内の計画に対して未達で推移しておりまして、セグメント全体で言えば、受注高、売上高が 1 割ほど未達で推移していると。その一つの大きな要因は SMIT 等の半導体製造装置の受注、売上の部分でして、特に受注高については 2 クォーターまでと同様に約 2 割受注がまだビハインドで推移している状況にあります。

一方、営業利益についてはこのセグメントでやはり売上高が未達で終わってることもあるのと、それから 2 クォーターの時も少し申し上げましたけども、海外のプラスチック機械の子会社、デマージ社の回復が遅れていることもありまして。こちらは売上減以上に利益が未達に推移してる状況です。

ロジスティック&コンストラクションのセグメントですが、こちらは油圧ショベルがかなり大きな影響を及ぼすということで、計画に対して受注、売上が 1 割強、未達で推移してるものと、若干やはりショベルについては関税の影響、それからその他の追加コスト等もあってこちらは売上減以上に利益が低下しているということとなっています。一部で産業用クレーンの関係での採算の、機種別の構成比による利益減少も影響している状態です。

一方、エネルギー&ライフラインについては受注高は約 9 割程度の進捗で、こちらはエネルギー環境関係の大物案件の成約のズレ等もあって、若干未達ですけれども、ほぼ全体感としてはプラスアルファの水準かなという見立てです。

売上高もほぼ計画通りなのですが、このセグメントについてはエネルギープラント関係の個別採算の改善等もありまして、利益は改善している状況です。

4 クォーターに向けてですけれども、特にメカトロニクスセグメントについてはここまでの利益率の改善状況を見ますと、いろんな施策でかなり成果が出始めているということで、こちらが順調に利益率改善の方向に向かっているなと評価をしています。

一方インダストリアルマシナリーについては、引き続いて半導体製造装置の関係がそれほどまだ改善の兆しがないということで、ただこちらは、ほぼ見直した計画に対してはオンラインという範囲かなと。

一方でこの3クォーターで少し状況が動いたのがプラスチック機械関係でして、この3クォーターで、中国電子電気関連で比較的大口の受注含めて受注が入っています。これは一部10月から価格改定をすることもあってその前倒しの発注もあった要素がありますけれども、ただ全体感としてはやはり中国のマーケット市場自体は回復傾向が続いているかなということで、この辺り4クォーターの売上は来期期初に向けて一定の売上の確保が進みつつある見立てをしています。

あとは若干読み切れないところが油圧ショベルの関係ですが、こちらについてはこれから残り4クォーターにかけてどれだけ最後の北米・国内での出荷が進むかというところで、こちらもほぼ今の社内の計画に対していくかなというところですが、少しこちらは最後の期ズレ等も含めて、若干流動的な要素が残っている感覚であります。

質問者① [Q] : 2点目、ゴライアスクレーンに関して伺いたくて。巷で造船所がまた投資が活況になるんじゃないかと新聞等で報道されてますけども、改めて御社のゴライアスクレーンが今回、業界全体として3,500億円投資するとかいろんな報道がある中で、こういったインパクトがありそうなのか。収益性や現状のキャパシティでどれぐらい増産できるのかとか今後の投資も含めて、もしくは御社から見た温度感なんかもしあれば、伺いたいことは盛りだくさんなのですが、もしよろしければざっくりばらんに伺ってもよろしいでしょうか。

渡部 [A] : 最近、造船業界で表明された将来の投資の規模感に関しては、実はまだその中身自体がはっきりとわれわれの実需として見えているわけではないのですが、ただそれ以前から今期もそうですし昨年からそうなんですけども、近年造船各社さんから老朽化した大型クレーンの更新の発注、もしくは見積もりの依頼はかなり増えてきている事実があります。

そういう意味で若干、今は今期でここまで注文いただいたところでも、かなり最近の生産計画を埋めつつあるところではあるんですが、今後は造船各社さんでそういう将来的な大型の投資が具体化すれば、われわれのグループ内のいろんな工場のリソースをうまく使って、どこまで対応できるかは詳細に検討したいなとは思っています。

過去にもいろいろ造船関連のクレーンについては社内でメイン工場の新居浜に置きながら西条ですとか、一部横須賀とか協業しているところもありますので、この辺りはもう少し具体化すれば可能な範囲で取り組んでいきたいとは考えています。

質問者② [Q]：数点で簡単に。一つは射出成形機の中国の受注が 3Q で良かったという話もあったんですけど、国内の状況はどうですか。業界の受注台数で見ても、国内の数字も補助金の影響で若干良かったんですが、この何か変わった 3Q の状況はいかがでしたか。特に 9 月、国内の射出成形機の状況をコメントいただけますか。

渡部 [A]：直近の 3 クォーター、特に 9 月は業界の統計も、月で言うと 1,300 台近い前後の統計結果だと思いますが、実は台数が増えた一つの要因がおそらく弊社の、あるまとまった大口受注の影響はかなり入っていると見てまして。われわれの見立てではそういった特殊分を除くと、おそらく業界としての需要の値は未だやはり月 1,000 台を超えていないレベルと見ています。

われわれが受注の内容を見ましても、特に国内が強く回復傾向があるというのはまだそこまで深く掘んでおりませんので、やはり投資の中心が電気電子、AI 関連ですとかスマホ関連とか、そういった中国での動きが今は引っ張っているかなという感覚ではあります。

質問者② [Q]：とりあえず中国が少し大口案件の関連で良かったんですけど、日本はそんなに状況が変わっていないし、ドイツの子会社も依然として厳しいんですね。

渡部 [A]：そうですね。昨年の最悪期からは脱して、やや最近の現地での展示会の状況なんかでも少しプラスの方向も見えていたとは聞いているんですが、ただやはり、昨年末ぐらいに想定したほどの回復力が未だ示してない、そういう感覚ですね。

質問者② [Q]：わかりました。別の話ですけども、油圧ショベルの状況ですが、どうですか、この数日間でコマツさんが結構国内のマーケットを慎重に見て、その代わりに日立建機が相変わらず比較的ポジティブなコメントもあるんですけど。御社の立場で、やはり油圧ショベルの一番大きい市場は日本ですが、今の日本の油圧ショベルの市場動向が、ごめんなさいもう 1 回、どうぞ覧になりますか。

来期に向けてポジティブに見るか、ちょっとネガティブに見るかなのか、人不足とか資材費アップとかいろんなコメントもありますので、レンタルの会社がどう動くかと、いろんな要因によって違うんですけど、足元と今後の国内の油圧ショベルの動向を教えてください。

渡部 [A]：われわれの国内の油圧ショベルの状況を見てますと、まず市場需要自体は全体でほぼ水平線を辿っているような感覚ではあります。ただ一方で特にわれわれが、シェアが比較的高いレンタル会社さん向けのところが、やはり保有資産の状況を見ながらの次の発注が少しまだ動いてないなということで、昨年なんかと比べますと全体に良くはなっているんですけども、やや停滞感はあるなということで、来年に向けてもそれほど大きな改善はまだないのかなというのが現状の見立てになるかなとは思っています。

質問者② [Q]：じゃあ少し慎重に見てるんですね。どちらかというとコマツに寄っているような感覚。

渡部 [A]：そうですね。あまり大きく伸びを見込む状況ではないなとは考えています。

質問者② [Q]：わかりました。ありがとうございます。最後にキャッシュフローのところで四半期ごとに見てもしょうがない面もあるんですが、9 カ月間でフリーキャッシュが若干ポジティブで去年よりだいぶ良くなってきたんですけども、しかし改善の度合いが遅いというところなんです。通期のキャッシュフローをどうぞ覧になるかと、このキャピタル・アロケーションについて来期がまた自社株買いを期待した方がいいのか、少しその辺のコメントをいただけますか。

渡部 [A]：おっしゃる通り、ここ 3 クォーターまでのキャッシュの状況を見ますと、昨年よりは改善してますし、社内の想定よりも若干プラスサイドで動いてるかなという状況にはあります。ただ一方、運転資本なんかを見ますと、今この 2 クォーター、3 クォーターのところでいうと油圧ショベルの販売の伸びが鈍いとか、半導体製造装置の受注残が少し延期されているようなところもありまして、やや在庫が高止まりしてる事実もあります。

ですから、これから年度末、4 クォーター末に向けてそこが売上に応じて改善していく想定にはなるんですが、おっしゃる通りキャッシュの状況次第では来期については当初、元々の中期経営計画の中で想定していた自社株買いも改めて検討する状況はできると思いますので、ここは今回の決算の内容を見ながら考えていきたいなと思っています。

質問者③ [Q]：造船関係で先ほども言及がございましたけれども、私から 2 点あります。まず 1 点目が、高市政権で米国と造船業について協力する覚書の話も出ていて、先ほど、更新の発注が増えてきているということですが、アメリカにおいてもクレーンについて事業機会となるか、見通しについて教えてく

ださい。

もう 1 点が今治さんと新造船事業で、横須賀で連携されていると思いますけれども、この施策は一時的なものなのか、あるいはさらに市況の方向によってまた拡大していく方向なのかについても教えていただければと思います。

渡部 [A]: 米国の造船業強化という流れの中でのまま、われわれのビジネスのチャンスだと思いますが、その点については実は今回のいろんな協定というか、そういった高市政権以前からの動きの中でもやはり米国での造船業を再興という動きの中で、われわれも米国造船所のいろんな設備の状況のリサーチとか、そういう案件の可能性は検討しております。

ただ、まだ具体的にわれわれとしてどこまで何ができるかはまだ提案には至ってないところですけども、いずれにしてもある一つのビジネスのチャンスであるとは捉えています。

それから今治造船さんからのメガブロックの受注を先般しましたけれども、これはどちらかというと経営方針的に造船業に対してのある方針を持って取り組んだということではなくて、むしろ新造船船撤退後の次の洋上風力等への繋ぎのための操業を確保という、そういう意味合いがかなり強かったということで。もちろん設備が空いている状況でわれわれも仕事ができる状況があれば、これはもうぜひそういった鉄鋼構造物の請負自体を入れることはあり得ますけれども、現時点で個別の造船会社さんと特別な協業といった意図はないのは事実です。

質問者④ [Q]: 一つ目が関税影響なんですけれども、このクォーターに関税影響がどれぐらい出て、それをどれぐらい転嫁できたかと、あとは当初想定されてた通り今期はコストアップが 50 億円あって、価格転嫁が 30 億円ぐらいできそうだというのは想定通りできているのか。これはいかがでしょうか。

渡部 [A]: この 3 クォーターでの関税影響って少し把握が難しいところはあるんですが、概算での認識は損益影響としてはおそらく北米のショベルの販売会社等の損益の低下分として 10 億円弱の影響が出ているであろうとは捉えています。

実は 2025 年度の PL 影響、損益影響が約 20 億円と以前申し上げたと思うんですけど、現時点ではあの時点から鉄鋼・アルミ関税の適用が加わってまして、そのあたり加味しても、ただそれほど今年度については大きな影響ではなくて、いろいろ差し引くとそれが 25 億円ぐらいの影響に広がっているかなという、そういう見立てではあります。

ここから先はその価格転嫁の状況なんですけど、まだ足元は価格転嫁自体が後追いという形になっていますが、来期に向けては油圧ショベルがなかなか全て価格転嫁はかなり厳しいことを認識してますけれど



も、その他の変減速機とかコンポーネント系のものについては、かなり転嫁するベースでマネージできるかなという方向性もありまして。やや来年度の影響値については当初想定したより若干圧縮する可能性もあるということで、これは今慎重な検討をしているところではあります。

質問者④ [Q] : 2 点目がゴライアスクレーンの考え方なんですけれども、新聞報道だと一基当たり 100 億円弱と書かれていて、ただ今治造船の丸亀工場向けの案件なんかを振り返ってるとそんなに大きい案件だったかなとかいろいろ考えるんですが、御社のゴライアスクレーンって 1 基当たりどれぐらいの規模と考えておけばいいかなと思ひまして。今後、頭の体操なんかする上で、投資家さんの参考になるかなんて思うんですけれども、もしヒントがあれば教えてください。

渡部 [A] : 実はクレーンといっても上の構造物だけではなくて、例えば下の基礎とかいろんなものも含めてどこまでの範囲での請負等々をしているかということで、かなりお客様の案件ごとに幅があります。かつ吊り上げ重量の想定によってもかなり金額の幅がありますので、具体的には少し申し上げにくいなということと、少なくとも例えば 10 年以上前のクレーンと現在の見積もりとかなりコストアップになっている状況もありますから、おそらく報道で出ている範囲で幅があるところかなとご理解をしていただけるとありがたいかなとは思ひます。

以上